

雪害への備え

雪崩はどのようなときに発生するの？

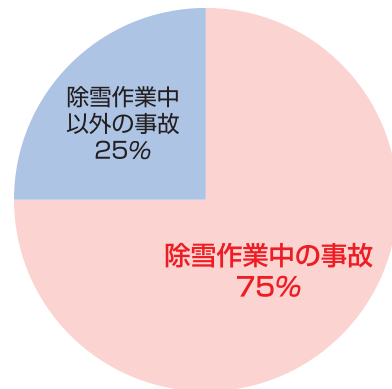
雪害は、豪雪地帯、特に山間部で過ごす際に注意すべき災害で、雪崩の発生するおそれのある箇所は「雪崩危険箇所」に指定されています。雪崩は時速100~200kmものスピードで斜面を下ってくるため、危険を感じたらすぐに避難しなければなりません。

降雪や降雨の後、天気が良く気温が上がったときや、気温が低く古い雪の上に多量の新雪が積もったときなどに発生しやすくなります。「雪崩危険箇所」付近に住んでいる場合、レジャーでスキー場や観光施設、冬山登山などに出かける際は十分注意しましょう。

除雪中に多くの事故が発生しています

記録的な大雪にみまわれた「平成18年豪雪」の際には、152名の方が亡くなりました。その約4分の3は除雪作業中の事故が原因でした。降雪量がそれほど多くない年でも、除雪作業中の事故で多くの死者・負傷者が発生しており、除雪作業の際には安全への十分な注意が必要です。

「平成18年豪雪」による死者原因別構成



出典:雪害による犠牲者ゼロのための地域の防災力向上を目指す検討会、資料

除雪中の事故を防ぐための10か条

- 作業は家族、となり近所にも声かけて2人以上で!
- 低い屋根でも油断は禁物!
- 建物のまわりに雪を残して雪下ろし!
- 作業開始直後と疲れたところは特に慎重に!
- 晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんでる!
- 忘れずに!命綱とヘルメット
- はしごの固定を忘れずに!
- 除雪道具はこまめに手入れ、点検を!
- エンジンを切ってから!
除雪機の雪詰まりの取り除き
- 携帯電話の携行を忘れずに!

出典:雪害による犠牲者ゼロのための地域の防災力向上を目指す検討会、
除雪中の事故防止に向けた対策

